

## 【政府への働きかけ】 日系企業と上海税関との対話(中国)

実施日: 令和5年5月19日

主催: 在上海総領事館

関連企業: 上海日本商工クラブの会員企業(主に化学系企業が参加)

在上海総領事館

### 【背景】

- 上海市には世界第1位のコンテナ取扱量を誇る上海港と国内の貨物取扱量第1位の浦東国際空港があり、中国における貿易の窓口となっている。当地に進出している日系企業の多数が上海市を通して貿易を行っており、通関手続き等税関関連業務については高い関心が寄せられている。
- ビジネス環境の改善の一環として、令和元年11月に上海税関に対して上海税関と日系企業との間において意見交換メカニズムの設置について提案し、順次意見交換の場が設けられるに至った。
- これまで第1回(令和2年8月)、第2回(令和2年9月)、第3回(令和3年1月)、第4回(令和4年9月)と計4回実施。対話を重ねる毎に上海税関と日系企業との議論も噛み合ってきている。
- 上海税関は海関総署(税関の中核機関)ともすり合わせながら本件対話に参加しており、国全体の制度設計の見直し等についても提起することが可能。

### 【結果】

- 新型コロナウイルス感染拡大により中断していた本対話につき、1年半ぶりに開催。
- 第5回目となる今回の対話では、日系企業から要望の多かった化学品輸出入時の証明書類提出に係る透明化・柔軟化・簡素化に焦点を当てて開催。
- 日系企業から提案した事項につき、上海税関から海関総署に提言がなされるなど、上海税関の協力的な姿勢も見受けられ、日系企業と上海税関の間でコミュニケーションを深める良い機会となった。

